



建交労



2022年9月8日
 建交労神奈川県南支部
 2022年秋季年末闘争No.2
 2021年度推進ニュース㊸通算265号
 発行責任者 小島 茂

建交労神奈川県本部は9/4第44回委員会を開催 10月2日に開催する第22回大会の諸準備を確認！

神奈川県本部は9月4日10時に“かながわ労働プラザ”で第44回委員会を3年ぶりにリアルで開催しました。委員会の中心議題は10月2日午後1時30分から川崎市の教育文化会館で開催する第22回大会の議案骨子・次期役員定数・選挙管理委員会の設置など諸準備の確認です。開会挨拶を行った小野執行委員は、最低賃金の推移を紹介（神奈川県は1977年309円から今年10月以降1071円へ45年間で約3.5倍）一定の成果を上げてきたが全国一律最賃制の確立など、さらなる奮闘の必要性を指摘しました。



主催者挨拶する伊藤委員長（右）と佐藤議長

委員会議長は神奈川県南支部の佐藤委員が選出されて議事を進行しました。主催者挨拶を行なった伊藤委員長は、8月末に開催された第24回中央本部大会で神奈川ダンプ支部が3年連続で組織拡大の最優秀賞を受賞するなど、500名県本部の実現は目前にあるとし、大会までの達成を呼びかけました。政治課題では、国民多数が反対する「安倍元首相の国葬」は賛成できないとの見解を表明。また、川崎学童保育指導員支部がとりくむ川崎市議会議長宛の署名を県本部の全組織で支えて成功させようと訴えました。



議案を提案する高橋県本部書記長（右）

つづいて議案提案を行った高橋書記長は、情勢の特徴として核戦争の危機・気候変動・感染症など人類の危機に直面するなかで岸田

政権は安倍元首相の国葬強行や安倍元首相はじめ自民党議員と反社会的団体である統一教会（世界平和統一家庭連合）国際勝共連合との底なしの癒着、コロナ感染対策での無策などによって支持率が落ち込んでいると指摘しました。2022年度運動方針骨子は、組織建設・組織拡大運動を前面に据え、一時は約300名にまで減少していた県本部組合員が、今年度は軽貨物ドライバー150名組織化などの奮闘によって現在480名まで回復するなかで、次年度では600名県本部の確立を提案しました。また、要求政策闘争や業種別闘争などにかかわる積極的な提案とともに日本国憲法を守り活かす国民的要求の実現に向けた政治課題での運動強化などを提起しました。

議案提案後の休憩をはさんで討論に移り、争議職場（三昭運輸分会とメイシヨク分会）の現状報告と訴え、鉄道本部のJR職場の現状報告、川崎



学童保育運動のとりくみが報告され、高橋書記長のまとめに続いて議案の採決に移り全体の拍手で採択されました。閉会挨拶は大島県本部副

委員長（右の写真）“団結がんばろー”は清野県本部執行委員（左の写真）が行って第44回委員会は成功裏に終了しました。



内閣総理大臣 様
衆議院議長 様
参議院議長 様

憲法改悪を許さない全国署名

行き詰まって相次いで政権を投げ出した安倍・菅政権をひきついだ岸田文雄政権は、2021年の総選挙で改憲発議に必要な3分の2の議席を手に入れました。岸田首相は中国や朝鮮を念頭に違憲の「敵基地攻撃能力の保有」となえ、歴代政権がかろうじて維持してきた防衛費の対GDP比1%以内の原則をも放棄して2%以上を主張するなど、米国をはじめ欧米諸国との軍事協力を強化し、「戦争する国」づくりを進め、アジアの緊張を高めています。しかし、この道の障害になるのが憲法9条など、日本国憲法の理念です。

改憲派は次の参議院選挙をにらみながら、9条に自衛隊を書き込むこと、緊急事態条項を創設することなどを内容とする自民党改憲4項目案をベースにして、国会の憲法審査会での改憲案づくりを急ごうとしています。

私たちは国会が改憲の発議をすることを許さず、すべての戦争に反対し、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生向上などを実現する政治を求めます。

【請願事項】

- 1、自民党が提唱する憲法9条に自衛隊を書き込むことなどの改憲4項目に反対します。
- 2、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生などの向上を実現する政治を求めます。

名 前	住 所

※いただいた署名は国会請願と首相への要請以外には用いません。

呼びかけ団体 9条改憲NO! 全国市民アクション

ホームページ: <http://kaikenno.com> メールアドレス: info@kaikenno.com

ツイッター twitter.com/no9kaikenno
インスタグラム [instagram.com/9jyokaikenno/](https://www.instagram.com/9jyokaikenno/)
フェイスブック [facebook.com/kaikenno/](https://www.facebook.com/kaikenno/)



連絡先

- 戦争をさせない1000人委員会 (☎03-3526-2920)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館内
- 憲法9条壊すな! 実行委員会 (☎03-3221-4668)
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-3-3 太陽ビル402市民ネット内
- 戦争する国づくりストップ! 憲法を守り・いかす共同センター (☎03-5842-5611)
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4F
- 九条の会 (☎03-3221-5075)
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7-303

取り扱い団体

内閣総理大臣 殿

唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声があがっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつづけます。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

名 前	住 所	募 金

この署名は、2020年10月29日、被爆者をはじめ各界・各層の代表126氏によびかけによりスタートしました。日本政府に提出します。ご記入いただいた個人情報、この要請目的以外には使用しません。

【取扱団体】

連絡先: 署名事務局 (原水爆禁止日本協議会)
〒113-8464 東京都文京区湯島 2-4-4
電話: 03-5842-6031